

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2025年												2026年			
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月 ~8日	2月 ~15日	2月 ~22日
カンピロバクター	18	14	38	22	23	36	38	43	27	27	24	18	22	6	7	7
病原性大腸菌	23	107	90	91	71	93	78	97	83	48	44	52	51	19	13	10
腸管出血性大腸菌	0	0	1	0	2	3	3	2	0	1	0	0	2	0	0	0
サルモネラ	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0	0	0	0	0	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	15	6	8	9	16	8	28	10	20	7	12	17	1	2	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	9	14	13	9	11	5	16	10	10	4	13	11	3	1	3
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
その他	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0	0	0	0	1	0
ロタウイルス	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0
ノロウイルス	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	0	1	8	1	4	3

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和8年第8週(2月16日~2月22日)

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	11	結核	11			1	2	4		4
三類	3	腸管出血性大腸菌感染症	3					2		1
四類	0	発生なし	0							
五類	14	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2		1			1		
		劇症溶血性レンサ球菌感染症	1				1			
		破傷風	1					1		
		梅毒	2					2		
		百日咳	8		1			3		4

注) 西部…大竹市、廿日布市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

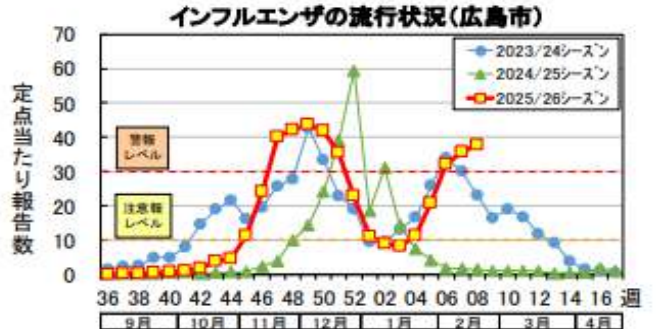
令和 8年8週(2月16日～2月22日)

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり37.74人の報告がありました。多い状況が続いており、注意が必要です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は52件の報告がありました。引き続き、手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第8週 A型:6人、B型:159人



2 感染性胃腸炎

定点当たり10.62人と、多い状況が続いています。冬季はノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が増加します。ノロウイルスは、感染者の便や吐物に多く含まれ、飛沫や人の手などを介して経口感染します。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												増減	微増減	
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2738	80.53		⇒	小児科	突発性発しん	5	0.24	0.15		↑	↓	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
	インフルエンザ	1283	37.74	6.91	⇒		ヘルパンギーナ	1	0.05	0.06		⇒	⇒	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
	新型コロナウイルス(COVID-19)	22	0.65		⇒		流行性耳下腺炎	-	-	0.03		⇒	⇒	ほとんど増減なし
小児科	RSウイルス感染症	5	0.24	0.19		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-				
	咽頭結膜熱	7	0.33	0.42			流行性角結膜炎	5	0.63	0.35				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	2.00	1.16	⇒	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	感染性胃腸炎	223	10.62	8.16	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	-				
	水痘	9	0.43	0.13			マイコプラズマ肺炎	4	0.67	0.13				
	手足口病	-	-	0.16			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	伝染性紅斑	-	-	0.03			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI) 定点数(内科・小児科)	34
小児科 定点数	21
眼科 定点数	8
基幹 定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	18	40歳代、60歳代、60歳代・推定感染地域: 国外、70歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	15	30歳代・O血清群不明、40歳代・O血清群不明
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	2	70歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	80歳代
5	梅毒	2	13	30歳代、50歳代
5	破傷風	1	1	60歳代
5	百日咳	3	12	10歳未満、10歳代、20歳代